

2 カレンダーを 寄贈いただきました

12/14

「広報かさま」の題字も書いていただいている市内在住の作家、関紫芳さんから2022年のカレンダーを100部寄贈いただきました。

このカレンダーは、文字だけでなく背景も関さんの作品として書かれています。カレンダーは市役所の各窓口等で使用させていただきます。



左から、関さん、山口市長

3 図書館と地域の発展を願って

12/15

市内に住んでいた田中榮二さんから、岩間図書館に100万円、宍戸小学校に100万円の寄附をいただきました。残念ながら、榮二さんが令和3年12月にお亡くなりになられたため、ご子息の一夫さんが来庁され、市長が目録を受け取りました。

いただいた寄附は、図書館では一般図書、児童書、DVDの購入、宍戸小学校では遊具の整備などに活用させていただきます。



左から、田中一夫さん、山口市長

4 笠間遊技場組合からの寄附

12/22

笠間遊技場組合の東原宝組合長から30万円の寄附をいただきました。同組合からは平成22年度から毎年寄附をいただいている、寄附等で設置した防犯カメラはまちなかの犯罪抑止となり、また市内外で発生した数々の事件の捜査に役立てられています。



左から、東原組合長、山口市長



こんな出来事ありました

1 公民連携による グッドデザイン賞を初受賞

愛宕山にあるグランピング施設「ETOWA KASAMA」と市が連携した取り組み「公共施設利活用を中心にした公民連携の地域活性化プロジェクト」が高い評価を受け、2021年度グッドデザイン賞を受賞しました。

既存公共施設（旧スカイロッジ）をリノベーションするだけでなく、ニューノーマル時代の滞在スタイルの提案、地域の資源や人的リソースに着目し地域の魅力やエリアブランディング、まちの資源の活用と観光客の満足の両立を実現する「地域循環システム」の創出を行いました。



左から山口市長、(株)コスモスイニシア 高智寛大朗代表取締役社長

7 笠間中央公園に石の彫刻を寄贈いただきました

12/13

石彫作家 富樫一さんの作品が、笠間中央公園に設置されました。この像は、桜川市にある大泉砕石株式会社代表取締役の長谷川雅弥さんから寄贈いただいたもので、寄贈者である長谷川雅弥さんの父、長谷川大紋さんに市長から感謝状が手渡されました。

作品名『親の像』のとおり、公園に来た子どもたちを優しく見守ってくれているようです。



寄贈された石の彫刻『親の像』

5 稲田石銘板の揮毫に感謝

市役所本庁舎前に、稲田石でできた笠間市役所の銘板が設置されました。この銘板は、地場産材のPRや振興を図るために設置されたもので、重さは約20トン、幅が約4メートル、高さが約2メートルもある巨大な一枚岩です。

銘板の文字を揮毫したのは市内在住の書道家、米川香庵さん。米川さんは、御年91歳で後進への指導もされるなど、長きにわたり活動を続けられています。



左から、山口市長、米川さん

8 多くの支援で新たな安全安心が生まれる

新型コロナウイルス感染症対策基金を活用した、感染症にも対応できる高規格救急自動車が令和3年11月に納車され、運行を開始しています。

車両には、運転席と傷病者室を遮る開閉可能な扉や、感染者を隔離して搬送できる感染防護運搬器具が装備され、二次感染を防止できる仕様となっています。

この基金は、感染症対策に役立ててほしいと多くの方からの寄附によるものです。あたたかなご支援、本当にありがとうございます。



高規格救急自動車

6 契約電子化の推進で表彰されました

12/7

契約業務電子化の取り組みが評価され、笠間市が「CloudSign Re:Change Award」で優秀賞を受賞しました。この表彰は、電子契約サービスを提供している「弁護士ドットコム株式会社」が行っているもので、電子契約の推進に取り組んだ全国の4団体を表彰。

笠間市は、全庁的に電子契約を活用したことや、市内事業者約200社に向けて説明会を実施したことなどが評価されました。電子契約を導入したことにより、市・事業者の時間と費用の削減につながっています。



市デジタル戦略課の皆さん